

ITA\_システム構成/環境構築ガイド

Cobbler-driver

*－*第1.1版*－*

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

* LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
* Oracle、MySQLは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
* MariaDBは、MariaDB Foundationの登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

目次

[はじめに 3](#_Toc14442996)

[1 機能 4](#_Toc14442997)

[2 システム構成 5](#_Toc14442998)

[2.1 一般的な構成 5](#_Toc14442999)

[2.2 オールインワン型の構成 6](#_Toc14443000)

[2.2.1 ITAシステムとCobblerシステムを同じサーバーに同居させる場合の注意 7](#_Toc14443001)

[3 システム要件 8](#_Toc14443002)

[4 Cobbler driver（ITA側） － Cobbler driver（Cobbler側） 共有ディレクトリ準備 9](#_Toc14443003)

# はじめに

本書では、ITAでCobblerオプション機能（以下、Cobbler driver）として運用する為のシステム構成と環境構築について説明します。

ITA　Cobbler driverを利用するにあたっては、ITA基本機能が構築済であることが前提です。ITA基本機能の構築に関しては、「環境構築ガイド（基本編）」をご覧ください。

# 機能

Cobbler driverは以下の機能を提供します。

表 1 機能名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 機能名 | 用途 | WEB  コンテンツ | BackYard  コンテンツ |
| 1 | Cobbler driver  (ITA側) | ITAからサーバのネットワークインストールの設定を行う。 | ◎ | ◎ |
| 2 | Cobbler driver  (Cobbler側) | ITAとCobblerを中継するインターフェース | － | ◎ |

# システム構成

## 一般的な構成

Cobbler driverのシステム構成は、ITAシステムと同じです。

Cobbler driverについては、ITAサーバとは別にCobbler専用サーバを用意する構成が考えられます。

(一つのサーバにコンソリデーションする構成も可能です。)

ここでは、ITAシステムの推奨構成であるバランスHA型にCobblerサーバを付加した構成を図示します。

※ ここでは省略した構成図を記載します。詳しくは「システム構成／環境構築ガイド\_基本編」を参照してください。

ITAシステム/Cobbler driver

AP/DBサーバ [SBY]

BackYard

機能

AP/DBサーバ [ACT]

DB

セッション

管理

アップロード

ファイル

DB接続情報

DBMS

Webサーバ [ACT]

Webサーバ [ACT]

Web

機能

Webサーバ [ACT]

DB接続情報

ロードバランサー

Cobblerサーバー

Cobbler APIサーバ

**CobblerDriver（Cobbler側）**

Cobbler

**Cobbler**

**Driver**

**（ITA側）**

構成対象機器

サーバ

サーバ

サーバ

外部設置データ

## オールインワン型の構成

同じサーバーにITAシステムとCobblerシステムを同居させる場合の構成を以下に図示します。

※ ここでは省略した構成図を記載します。詳しくは「環境構築ガイド（基本編）」を参照してください。

ITAシステム＋Cobblerシステム/Cobbler driver

１-サーバ ［SBY］

ITA

Web

機能

DB

セッション

管理

アップロード

ファイル

BackYard機能

DB接続情報

１-サーバ ［ACT］

DBMS

CobblerDriver

Cobbler側

CobblerDriver

ITA側

データリレイストレージ

Cobbler

構成対象機器

サーバ

サーバ

サーバ

### ITAシステムとCobblerシステムを同じサーバーに同居させる場合の注意

CobblerWebを使用する場合、ITAシステムとCobblerシステムの両方をインストールしたサーバーでは、ITA WebシステムとCobblerWebを競合させず動作させるためにhttpサーバーのListenポートを分ける必要があります。

以下では、httpサーバーとして二つのApacheをインストールする方法を取った場合の注意点を説明します。

　別のディレクトリに二つのApacheを置く場合では、どちらの実行ファイル（httpd）もインストール時に/etc/init.dに配置されます。この時、後続のインストールでの実行ファイルの上書きを防止するため、先発でインストール済みの実行ファイルの名前を変えておくなどして対応する必要があります。

また、httpd.confおよび紐付られている設定ファイルを、それぞれポートの重複を避けて設定してください。

インストール後は、それぞれの実行ファイルを実行し、二つのApacheを起動してください。

デフォルトではないポートを設定したWebページをブラウザから開く場合は、

[　http://exastro-it-automation:8080/webdbcore/~~ ] のように、サーバー名の後に:(ポート番号)と表記することで閲覧することができます。

ITAシステム＋Cobblerシステムサーバー

[exastro-it-automation]

Apache-2

Apache-1

WEBシステム

Cobbler

システム

ITAシステム

**ポート**

**８０**

http://exastro-it-automation/

**クライアント**

WEBシステム

http://exastro-it-automation:8080/

**８０８０**

＊上記はHTTPアクセスの場合です。

# システム要件

Cobbler driver（ITA側） はITAシステムのシステム要件に準拠するため、

「システム構成／環境構築ガイド\_基本編」を参照してください。

ここではCobbler driver（Cobbler側）の必要要件を記載します。

表 3 Cobbler driver（Cobbler側） システム要件

|  |  |
| --- | --- |
| **パッケージ** | **バージョン** |
| Cobbler | 2.6以上 |
| PHP | 5.6 |
| Python | 2.6以上 |
| Apache\* | 2.2系　/　2.4系 |

\* Cobblerインストール時に、同時にインストールされている場合がほとんどです。

# Cobbler driver（ITA側） － Cobbler driver（Cobbler側） 共有ディレクトリ準備

Cobbler driver（ITA側）とCobbler driver（Cobbler側）が共通で参照するディレクトリを準備してください。

Cobbler driver（ITA側）および Cobbler driver（Cobbler側）インストール後、この共有ディレクトリをITAシステムに登録する必要があります。「利用手順マニュアル\_Cobbler-driver」の「インターフェース情報」を参照し、登録を行ってください。

　ただし、ITAシステムとCobblerシステムを同一のサーバーで運用する場合は、共有ディレクトリとしてマウントされていない任意のディレクトリを用いる方式を取ることもできます。